



きたがわ かつよし 議員
北川 克良

皆が健康で充実した生活を送ることを考えていきたい

問 高齢者勤労センターの存在意義は

町長 重要な役割を果たしている

高齢者勤労センター

問 町は高齢者勤労センターの存在意義をどう考えているか。

町長 高齢者勤労センターは現役を引退した後、経験や技術能力を生かし、希望する高齢者に対して身近な働く場を提供している。住んでいる地域の役に立つことで、地域社会に貢献し活躍している。

高齢者勤労センターは身近な就業支援団体であると同時に、高齢者が健康で生きがいのある生活を送っていくうえで大変重要な役割を果たしていると認識

している。

問 町の委託業務を受けられなくなった場合の影響は。

町長 町が委託している業務は公園、パークゴルフ場、町営住宅などの町の清掃・草刈り業務・在宅福祉除雪業務など20種類を超える。

これらの業務委託ができなくなった場合、地元企業や地域に協力を求めるなど新たな対策の検討が必要となる。高齢者や障がい者宅の除雪業務は差し迫った

課題であり、福祉サービスの低下が危惧されている。

問 会員確保への助言は。

町長 会員数の減少は、就業環境の変化による場所が大きく、就業以外にも生きがいを見出される方も増えている。また、高齢者勤労センターは、短期的または軽易な業務を行う団体であることから働く意欲のある高齢者のニーズを満たしていないと感じている。さらに、老後の暮らし方も多様化し、今後は時代

に合わせ改善していくことが必要である。高齢者の中には働く意欲の高い方や何をすべきか悩んでいる方がいる。

高齢者や退職予定者に対して、高齢者勤労センターを積極的に周知広報するなどの取り組みが必要である。

人手不足にある現役世代を支える担い手として、介護や子育ての分野へ高齢者の就業推進を高齢者勤労センターと共に検討をしていきたい。

問 今後の助成の考えは。

町長 高齢者勤労センターは平成7年10月に設立され、平成29年度から収支が赤字になり、積立金の取り崩しが続いていると伺っている。10月からインボイス制度の導入もあり今後の財政状況を見守っていききたい。

10Xモ

インボイス制度

企業間取引での消費税計算を明確化するための請求書交付制度。税逃れ防止と適切な税納付を目指すしている。

問 将来を見据えて剪定技術など、特技を磨く講座を開いていく考えはあるか。

町長 講習を受けられる制度自体はできているので周知を図りながら、対応したい。



北川議員の一般質問を視聴できます